

図案表現 課題

2025 年の商業施設士資格試験・構想表現（実技）試験、**図案表現**は、以下の内容などをもとに、試験時間内（180 分）に、設計主旨、平面図、透視図（イメージパース）を完成させる課題となっています。

テーマ：鉄道高架下の商業施設の計画

－ 周辺環境 －

1. 都心の主要幹線鉄道の高架下で、もとは、倉庫や駐車場、個店などの用途としていた場所を一斉開発し、おおよそ 20 店舗からなる店舗群にリニューアルオープンする。
2. インバウンド観光客と近隣のビジネスマンを主な客層・ターゲットとしている。
3. この店舗群の全体は「和のテイスト」をコンセプトとし、営業時間は 11:00～24:00 となっている。

－ 設計対象等条件 －

計画場所に、次のいずれかの業種のうち、1 つの業種を選び計画する。

- (1) 「衣料品店」、(2) 「雑貨店」、(3) 「寿司店」、(4) 「甘味処」

計画対象の商業施設は、入口の見通し規制により、ファサードの壁面の高さを 1,200mm 以下とし、入口の間口を 3,000mm とする。

－ 設計図書 －

設計主旨： 200 字程度で具体的にかつ簡潔に記述する

平面図： 縮尺 1：100、鉛筆等を用い（フリーハンド可）、答案用紙の所定の位置に作図する
面積、家具、仕上、寸法（単位：ミリメートル）等を記入

透視図： 一点透視図法または二点透視図法で、商業スペースを含む表現とし、色鉛筆または（イメージパース）マーカーで着色する（併用可）

[答案用紙：A3 判 × 2 枚]

注 i：その他の与条件については、試験日当日の構想表現（実技）試験時間内に問題用紙に記載して配布します。

注 ii：卓上計算機の使用は可となっていますが、携帯電話・スマートフォン・タブレット等の電子機器の中の計算機（電卓機能）は使用不可とします。

注 iii：その他試験に関する詳細は総合案内書をご覧ください。

注 iv：本紙は、試験時間中に試験室（決められた座席）に、携行することができません。